《研究課題名》

ＧＤＭ（妊娠糖尿病）女性の糖尿病発症率と母乳栄養継続期間の分析

《研究対象者》

2011 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日の間に妊娠中に「妊娠糖尿病」と診断され、分娩後に産後１か月健診を当院にて受診された方。

研究協力のお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の「母子診療科での診療録（カルテの内容）」「助産師外来記録」「糖尿病内分泌内科診療録」の情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。

対象となられる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。なお、本研究への情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

《研究期間》　滋賀医科大学学長許可日～2027 年 12 月 31 日

《研究責任者》　滋賀医科大学　実践看護学講座（母性看護学・助産学）　立岡弓子

（２）研究の意義、目的について

《意義》

妊娠糖尿病女性に対し、2 型糖尿病予後について、母乳栄養の継続が発症リスク低減に繋がるというエビデンスに基づく情報提供を行うことができれば、母乳栄養に取り組む動機付けになり、助産師による乳房ケアの必要性がさらに位置づけられます。

《目的》

妊娠糖尿病女性の産後の母乳栄養継続の程度と糖尿病発症予後に焦点を当て、母子の 2 型糖尿病、耐糖能異常、肥満をはじめとする健康状態を検証することを目的としています。

（３）研究の方法について

《研究の内容》

【研究対象となる方】

2011 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日の間に妊娠中に妊娠糖尿病と診断され、分娩後に当院で産後１か月健診を受診された 18 歳以上の方。

《利用し、又は提供する試料・情報の項目》

妊娠期から産後糖尿病内分泌内科診察終了までの診療録（カルテ）からの情報収集：年齢、体格、妊娠糖尿病と診断された週数、既往歴、家族歴、妊娠分娩歴、妊娠中・産後の採血検査データ（HbA1c、血糖値など）、糖尿病治療内容、分娩記録、赤ちゃんの体格や呼吸器異常等の有無および血糖値
産後助産師外来記録（主に母乳栄養に関わる情報）

©Shiga University of Medical Science Research Ethics Committee.

《情報の管理について責任を有する者》
国立大学法人　滋賀医科大学　学長　上本　伸二

（４）個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの情報から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたと ID を結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

（５）研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないよう、十分配慮いたします。

（６）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（７）利用又は提供の停止

本研究の対象となる方の求めに応じて、対象者の方の情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（８）にご連絡ください。

（８）本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学　実践看護学講座（母性看護学・助産学）　立岡弓子
住所：520-2192　滋賀県大津市瀬田月輪町
電話番号： 077-548-2433

©Shiga University of Medical Science Research Ethics Committee.